

## エラスムス・プラスプログラムによる学生交流 募集要項 (ギリシャ・クレタ工科大学)

クレタ工科大学（以下、TUC）とのエラスムス・プラス協定に基づき、本学に在籍しつつ、TUC で単位取得又は研究指導を受ける派遣学生を募集します。派遣期間中は、EU から奨学金（返済不要）を受給することができます。

### 1. 応募資格

(1) 応募の時点で、

- ・工学部 環境・社会基盤工学科
- ・工学研究科 環境・社会基盤工学専攻
- ・工学研究科 総合工学専攻（環境・社会基盤工学科の研究室所属）

に在籍する学生で、応募時点と派遣期間に休学していないこと。

(2) 原則として、B1 レベル以上の英語力を有すること。

※CEFR (Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment) 基準 ([各資格・検定試験と CEFR の対照表](#))

(3) 派遣前と派遣中に、必要とされる語学の学習ができること。

(4) 派遣される場合、自身の責任においてビザ申請や海外留学保険加入等を行えること。

※ 海外留学保険については、学研災付帯海外留学保険に加入することができます。（大学事務局から別途案内します。）

※ 本学の授業料を納付することにより、留学先での授業料等は徴収されません。

### 2. 募集人数

1名

### 3. 留学期間

TUC における冬学期（2026年10月～2027年2月）または春学期（2027年2月～2027年7月）のうちの、4か月

### 4. 申請方法

下記の書類を、事務局に提出してください。

(1) 学部生

- ① 参加申込書
- ② 志願理由書
- ③ 指導教員の推薦書
- ④ 学業成績証明書（学部1年次～2025年度後期まで（他大学在籍分も含む））
- ⑤ 保護者同意書
- ⑥ 英語能力試験証明書（本学在学期間内に受験したものであること）

※IELTS, TOEFL が望ましいが、英検、TOEIC も可。

※本学在学期間内に受験したものであること。

## (2) 大学院生

- ① 参加申込書
- ② 志願理由書
- ③ 指導教員の推薦書
- ④ 学業成績証明書
- ⑤ 研究業績一覧 (様式任意)
- ⑥ 保護者同意書
- ⑦ 英語能力試験証明書

※IELTS, TOEFL が望ましいが、英検、TOEIC も可。

※本学在学期間内に受験したものであること。

## 5. スケジュール

～2026年5月15日(水)	学内募集期間
～2026年6月	選考期間 ※必要に応じて、面接を実施する場合があります。
2026年7月上旬	選考結果発表(予定)
2026年10月以降	派遣期間

※学内選考では、学業成績・志望動機・語学力を総合的に判断します。個別の結果通知に関する問い合わせは受け付けません。

## 6. 学習の内容及び単位の認定

### (1) 学部生

- ・ TUC にて授業を履修。(使用言語：ギリシャ語・英語)  
[化学・環境工学科のカリキュラム一覧](#)
- ・ TUC での授業の単位数 (ECTS) を本学の単位数に変換し、卒業要件単位の内、専門基礎科目・専門共通科目・専門科目 (卒業研究以外) の単位数として認める (上限なし)。ただし、教育課程表の「備考」欄で示した要件は、別途満たす必要がある。
- ・ 20ECTS 分の履修を行うこと。
- ・ 特別聴講学生に係る他大学等授業科目履修願を提出すること (別途案内)

### (2) 博士前期課程生

- ・ TUC にて授業を履修、または研究室にて論文執筆。(使用言語：英語)
- ・ TUC での単位数 (ECTS) を本学の単位数に変換し、他専攻の授業科目の修得単位と合わせて 10 単位まで、修了に必要な単位 (修了要件単位) として認める。ただし、教育課程表の備考欄で示した要件は、別途満たす必要がある。
- ・ 論文執筆を行う場合は、25～30 時間の学習量を 1 ECTS とし、TUC の指導教員が単位数と成績を評価する。単位認定方法については、上述の授業科目と同様。

- ・ 20ECST 分の履修もしくは論文執筆を行うこと
- ・ 特別聴講学生に係る他大学等授業科目履修願を提出すること（別途案内）

### (3) 博士後期課程生

- ・ TUC の研究室にて論文執筆（使用言語：英語）
- ・ ECTS 数の指定、本学での単位認定はなし

※ 本学における 1 単位 = 1.8 ECTS として換算（最小認定単位は 0.5 単位とし、0.5 単位未満は切り捨て。）

## 7. TUC で論文執筆を行う場合

申請前に、TUC で指導を希望する教員の内諾を得てください。

申請時には、提出書類と合わせて TUC の教員からの受入内諾書（E メールでも可）を提出してください。

TUC での指導教員を探す際には、下記の TUC エラスムス・コーディネーターに問い合わせること。

### 【TUC エラスムス・コーディネーター】

School of Environmental Engineering

Professor Stelios ROZAKIS

Tel. +0030 28210 36160

[srozakis@tuc.gr](mailto:srozakis@tuc.gr)

## 8. 留意事項

- ・ 本学での授業・試験日程、就職活動、卒業までの履修計画、その他各自の予定等を応募前に十分確認し、参加が可能な場合のみ応募してください。なお、本学からの派遣可能人数に上限があり、学内選考後に辞退すると他の学生の留学機会損失につながるため、応募後に辞退することのないよう十分注意してください。
- ・ 学内選考では、学業成績・志望動機・語学力を総合的に判断します。個別の結果通知に関する問い合わせは受け付けません。
- ・ 卒業年次に出発する学生は、留学先での成績証明書が年度内に受領できず、卒業までに単位認定が間に合わない可能性があるため、十分注意してください。
- ・ 最終的な留学の可否は派遣先大学が決定するため、学内で出願が認められても、必ずしも留学できるとは限りません。（相手大学の事情、本人の語学力、履修科目、成績などさまざまな理由で受入れ不可・変更になることがあります）。
- ・ 希望した科目を履修できない場合もあるため、柔軟に対応してください。
- ・ ビザ・住居・保険・航空券の手配は、自身で行ってください。
- ・ 派遣先国における入国制限または外務省による危険情報・感染症危険情報の発出状況等により、本学が留学中止や留学時期の変更を指示する場合があります。

## 9. 保険について

渡航期間中は、救援費・治療費が無制限の日本の海外旅行保険に、自己負担にて加入してください（「学研災付帯海外留学保険」の場合、半年の留学で6万円程度）。

派遣先大学で、指定された保険への加入が義務付けられている場合は、日本で加入した海外旅行保険と現地の保険の両方に加入する必要があります。

## 10. 経済的支援について

本プログラム参加者には、渡航費支援金 1,735 ユーロと、奨学金 850 ユーロ／月が、2回に分けて支給されます。

- ・ 渡航費支援金：渡航前に日本の銀行口座に支給
- ・ 奨学金：総額の 80%を、渡航前に日本の銀行口座に支給  
残りの 20%は、所定の書類を提出後に日本の銀行口座に支給  
※早期帰国をした場合は、奨学金が満額支給されない場合があります  
※状況により、渡航後に支給される可能性もあります。

## 11. 留学後の報告

派遣留学生は帰国後、期限までに以下の書類を提出してください。

- ① 交換留学報告書 ※帰国後 1 カ月以内
- ② 派遣先大学の成績証明書 ※発行され次第

また、本学や TUC が実施するアンケートや留学体験に係る広報・イベント等への積極的な協力をお願いします。

## 12. 問合せ先

事務局教務課学生係

E-mail : [kokusai@pu-toyama.ac.jp](mailto:kokusai@pu-toyama.ac.jp)

※問い合わせはメールにてお願いします。